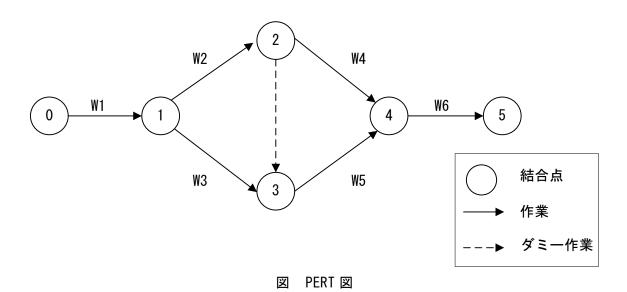
問題1 次の工程管理に関する記述を読み、各設問に答えよ。

あるプロジェクトがあり、その作業は W1~W6 までの 6 つに分かれている。それぞれ の作業における所要日数と、その作業を実施する前までに終えていなければならない 作業は、次の作業表のようになっている。

表 1 作果衣 ————————————————————————————————————				
作業名	所要日数	先行作業		
W1	3	なし		
W2	4	W1		
W3	2	W1		
W4	5	W2		
W5	4	(1)		
W6	3	W4, W5		



<設問1> 作業表の に入れるべき作業名を解答群から選べ。

(1) の解答群

ア. W2

イ. W2, W3

ウ. W2, W4

工. W3

<設問2> 次の作業日数に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答 群から選べ。

作業表と設問1のPERT図から、このプロジェクトが完了するまでの最短日数を求め ると (2) 日であり、その時のクリティカルパスは (3) である。

また、作業開始までに最も余裕がある作業は (4) で、その日数は である。

なお,表1にある所要日数の通りに作業が進んでいる場合,結合点1に到着した時 点の進捗度は (6) %であり、結合点4に到着した時点の進捗度は (7) %で ある。

ただし、進捗度は、全体の所要日数に対する、その結合点までの所要日数(最遅開 始時刻)の割合として計算する。

(2) の解答群

ア. 13

イ. 14 ウ. 15 エ. 16

(3) の解答群

$$\mathcal{T}$$
. $0 \to 1 \to 2 \to 4 \to 5$

$$\mathcal{T}. \ 0 \rightarrow 1 \rightarrow 2 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \qquad \qquad \cancel{4}. \ 0 \rightarrow 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$$

$$\dot{\mathcal{D}}. \ 0 \rightarrow 1 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5$$

$$\mathfrak{I}$$
, $0 \to 1 \to 3 \to 2 \to 4 \to 5$

(4) の解答群

ア. W1

イ. W2

ウ. W3 エ. W4

(5) の解答群

ア.0

イ. 1

ウ. 2

エ. 3

(6), (7) の解答群

ア. 10

イ. 20

ウ. 30

工. 70

オ. 80 カ. 90

<設問3> 次の日数の短縮に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解 答群から選べ。

作業 W2~W5 は、増員することで所要日数を短縮することができる。1 日短縮するた めに必要な費用は表2のようになっている場合、最も安い費用でプロジェクトを完了 するまでの最短日数を1日短縮するには、作業 (8) を1日短縮する。

表2 作業日数を1日短縮するための費用

作業名	W2	W3	W4	W5
費用	8万円	10 万円	10 万円	5 万円

(8) の解答群

ア. W2

イ. W3 ウ. W4 エ. W5